

令和7年度第2回(第61回)栗東歴史民俗博物館協議会 議事録

開催日時 令和8年2月3日(火曜日) 10時00分から11時15分まで

開催場所 栗東歴史民俗博物館 会議室

出席者

協議会委員 大西洋子(会長)、宇野日出生(副会長)、大橋信弥、大屋邦代、
國賀由美子、高宮弘、西尾悦子、林優里
の各委員(8名)

事務局 中川謙二(教育部長)
古谷敦士(スポーツ・文化振興課 課長、歴史民俗博物館 館長)
中川敦之(歴史民俗博物館 係長 ・ 学芸員)
市田悠人(歴史民俗博物館 主事補 ・ 学芸員)
岩坂浩美(歴史民俗博物館 主査)

欠席者 鈴木元彦 委員、安本昌彦 委員(委任状提出有)

傍聴者 0名

概要

1. 開会

2. 協議事項

- ①令和7年度下半期の博物館事業について
- ②令和8年度の博物館事業について
- ③その他

3. 連絡事項

4. 閉会

議事

1. 開 会

事務局職員の紹介

開会の挨拶（大西会長挨拶）

2. 協議事項

①令和7年度下半期の博物館事業について

資料に沿って、事務局 中川 敦之 係長より説明。

（A 委員）資料9ページ「近江東海道中絵巻」発行部数は、またどこで購入できるのか。

（係 長）全体で5,000冊。栗東市配分1,000冊。2冊200円。

各市町の博物館施設において購入可能。

（B 委員）中山道とか東海道以外の道も作成しないのか。

（係 長）元々は近江東海道中絵巻（関～甲賀編①、甲賀～湖南編②、栗東～京三条辺③）の3冊セットで作成をしていたが、栗東市と関連している③を希望される方が多く、残部にばらつきがある。今回は、他市でも希望が多い東海道中絵巻を作成している。

（A 委員）予算はどのようになっているのか。

（係 長）作成費は、大津市・草津市・湖南市・甲賀市・栗東市の5市各市の予算。

（A 委員）過去に作成した物が残っているのであれば一緒に販売しないのか。

（係 長）作成時期が何年も前であり、内容が現在に合っていない箇所があるため、販売はしない。

②令和8年度の博物館事業について

資料に沿って、事務局 中川 敦之 係長より説明。

（B 委員）昨年度、市民学芸員の会より提案していた竹村コレクションの展示を令和8年度に開催していくとの報告を受けていたが展示はしないのか。

（係 長）以前に開催したような展示室など大きな部屋を使用しての展示は現在の人員体制では難しい。博物館実習の学生などと一緒にミニ展示やケース展示などを開催するなど開催方法を検討していくが、市民学芸員の会が主体となって検討をお願いしたい。

（B 委員）開催はまだ決まっていないが開催はするということか。

（係 長）開催していければと考えている。

（C 委員）企画展「近江栗太郡志」刊行100周年記念展で取り扱う資料は博物館にたくさん収蔵しているのか。

（係 長）里内文庫の収蔵品や関係する写真の展示、米原市などからの借用をするなどして展示を行う予定。

- (A 委員) 博物館講座「かまどめしを炊こう」は、参加者がお米1合を持参し無料で以前は開催していたように記憶しているが。
- (係 長) 無料で開催していたことはない。以前は米を持参していただき参加費 100 円で実施していたが、色々な銘柄や新米古米が混ざると炊きあがりにむらが出るため、安定して米を炊く体験ができるよう現在は近江米を購入して参加費 500 円で実施。
- (D 委員) 令和8年度も多くの企画を計画いただき博物館を知っていただける機会となることと思うが、学芸員が展示もし、出前講座があれば講演を行う現状で、少ない職員数で実施していくのには職員の負担が大きいのではないかと。
- (係 長) 展覧会に関しては抜けの無いように実施していけるよう工夫している。職員が充足しているとは言えないが、精いっぱいさせてもらっている。
- (D 委員) これだけの展示を行うためには、展示替期間に片付けと展示を総動員で行い、当館を知っていただくために楽しんで学芸員として取り組んでいただいている姿を拝見しているが、大変ではないかと心配で質問した。
以前は第一展示室では考古の物や仏像が同じものが展示されていたが、今は定期的に展示を変えておられることでまた来たいと来館者が思っただけの努力をされていることが分かった。また来れば新しい何かが見られ、たくさん色んなものの展示があるということを知っていただくことができた半面、大変ではないかと危惧している。
- (E 委員) DX化推進では栗東市は市民サービスにおいて進められておられるが、博物館として取り組まれていることはあるのか。
文化財保護・観光振興と関連づけたものが市の計画の中でどのようなものがあるのか。
- (係 長) 博物館としてDX化に取り組んでいるものはない。
資料のデータ化を進めていき、将来的にはホームページ上で公開できるようにしていきたい。
栗東市役所で公式ホームページを独自で持っている組織は当館のみであり、令和8年度は予算化されなかったが、シティープロモーション推進課と協議を行いながらホームページのリニューアルを検討していきたい。
現在業者からの提案をいただいている。
ただし、安易に文化財の情報を公開すれば盗難等の危険性も懸念されるため、寄託いただいて当館で保管している物等から、寄託者の意向を伺いながら進めていく必要がある。
昨年度、滋賀県博物館協議会としてデジタルアーカイブが進めていけないか、当館から提案させていただいているのでこちらも併せて県内の博物館と足並みをそろえて検討していきたい。
- (E 委員) たとえば小学校の授業で金勝山から街をパノラマで見られることができる

機会があった場合に、狛坂磨崖仏が山に登らなくても栗東歴史民俗博物館で見ることができるとPRできたりすれば楽しそうだと感じたので提案させて頂く。今年度から金勝生産森林組合さんと協力しながら、(株)しびりこから旧中島家住宅で使用する薪を提供させていただき協定を結ばせていただき事業をすすめているが、令和8年度からは小学4年生の山の子事業で間伐した木を薪にしやすいサイズに切る体験を取り入れる。小学3年生の博物館教室「昔のくらし」で火吹きを体験した旧中島家住宅のかまどで使用する薪を自分たちで作ることができるという、体験につながりをもたせる内容で進めていけると良いとの思いを持って進めていきたい。

(D 委員) 子どもたちは喜ぶと思う。

大人が知ることはもちろん大事だが、子どもが自分たちで自分の町の歴史を知ることのできる機会を増やすことが大事だと思う。

(会長) パノラマで見れるということは良い。琵琶湖博物館に行くと大きな地図があり一生懸命自分の住んでいる街を探したりして楽しい体験ができる。文化財がどこに点在しているか実際に地図で見ることとか文化財が点在しているができればイメージしやすく楽しい体験となっていく。

(係長) 琵琶湖博物館学芸員に聞いたところによると開館当初と同じ地図が残っている。パネルにしてしまうと道路が変わったりしても更新していくのは大変であり、ホームページなどでデジタル化出来ると良いのではないかなと思う。

西田恵泉の「安養寺山からの眺望」も、実際に安養寺山にあがってもあのような景色は見えない。今現在の写真と見比べながら知ってもらえればいい機会になると思うのでデジタル化していけるよう、来年度以降進めていきたい。

(E 委員) 学芸員・事務職を含め少ない職員数でこれだけの事業を進めるのは大変だと思う。子どもたちが楽しいでいただける博物館施設としてちゃんとしていかないといけないところがある。

資料14 ページ施設の老朽化が緊急の課題とあがっており、計画的に進めていくのは重要であるが予算がかかることではあるため今後の計画は中長期的にどのように立てているのか伺いたい。

特別展と企画展の区別について伺いたい。

公開承認施設かどうかということが大きく関わってくることもあるが、公開承認施設に返り咲くことは考えていないのか。

資料16 ページの修繕工事について施設の修繕ではなく資料の修繕修理はしていかないのか。

今後の燻蒸方法について栗東歴史民俗博物館としての方向性を伺いたい。

(係長) 施設の修繕について市の中長期計画には乗っているが計画通りには進んでいない。先日も業者からチラーの部品はもう古くて入ってこないと言われていた。

機械が新しくなっており、現在の空調設備の規模ほどの物が必要ではないことからどのような規模の物に変えていけばいいのかということから業者からの提案をいただきながら準備していく必要がある。

特別展示は外部から重要文化財を借用し展示を行い、リーフレットの作成。

企画展は、外部からの展示物の借用も行うが館内の所蔵物を主に展示。

公開承認施設に返り咲くことができるように重要文化財を取り扱うことができる施設としての基準でもある重要文化財の展示を5年間で3回実施するなど継続的に進めていく。博物館法改正に伴う登録博物館の再申請も、令和10年度の期限までに行いたい。

旧中島家住宅の屋根も修繕が必要。クラウドファンディングなどを活用して修繕していけるよう関係課とも協議を行い進めていきたい。

③その他

(係 長) 栗東市において、財政健全化に向けた更なる財源の確保の具体的な取組の一つとして公共施設等の命名権（ネーミングライツ）の導入に向け検討を進めている。市の要綱等の整備・方向性が決定次第協議会にもお示ししたい。

(B 委員) 市民学芸員の会の現在の取り組み状況について。

輪読会は、佐々木元館長のご指導をいただき『東海道名所図絵』を読み進めてきたが、鈴鹿を越えたため終了した。

1月からは、草津宿から中山道の名所図会を読み進めている。

令和8年度には、今後輪読会をどのように進めていくのか検討していきたい。

3. 連絡事項

なし

4. 閉 会

閉会の挨拶（宇野副会長挨拶）